

令和3年度第1回恵那市行財政改革審議会 会議録

日時：令和3年11月9日（火）

午前10時～

場所：恵那市共同福社会館

1. 開会
 2. 委員の委嘱
 3. 自己紹介
 4. 会長・副会長の選任
 5. 会長・副会長あいさつ
 6. 副市長あいさつ
 7. 議事
 - (1) 令和2年度行財政改革行動計画の達成状況について 資料NO.1
 - (2) 令和2年度指定管理施設に係るモニタリング結果について 資料NO.2
 - (3) 恵那市財政計画の年度改定について 資料NO.3-1～3-3
 8. 報告事項
 - (1) 恵那市公共施設等総合管理計画の改訂について 資料NO.4
 - (2) 恵那市公共施設個別施設計画の改訂について 資料NO.5
 9. その他
 10. 閉会
-

出席委員

寺澤朝子委員、高木良直委員、矢頭禎朗委員、伊藤孝行委員、
柘植麻美委員、鎌田基予子委員

欠席委員

和仁 誠委員

1. 開会

■事務局（進行） 本日の資料の確認をお願いします。資料は、次第と名簿、資料 1、資料 2 は開いて A 3 にしてください。資料 3-1 から 3-3、資料 4、資料 5 となります。

定刻になったのでこれより審議会を開催する。私は、本日の司会の企画課長の和田です。よろしくお願いします。

本日の会議に当たり、受付で体温測定などに御協力ありがとうございました。レジュメの裏面に名簿がある。和仁委員は所用のため欠席であり、委員 7 名のうち 6 名出席で、恵那市行財政改革審議会条例第 5 条の規定により、会議が成立している。また、本会議は公開し、会議は 11 時 30 分を終了予定とする。

2. 委員の委嘱

■事務局（進行） 次第 2、委員の委嘱。本来は委嘱状をお渡しするが、時間の関係で机上配布したので、ご確認ください。

3. 自己紹介

■事務局（進行） 自己紹介をお願いします。

■寺田委員 中部大学の寺澤です。よろしくお願いします。

■高木委員 恵那商工会議所より推薦を受けた、協和ダンボールの高木です。よろしくお願いします。

■矢頭委員 恵南商工会推薦の明光化成工業の矢頭です。よろしくお願いします。

■伊藤委員 金融機関の代表として来た、十六銀行恵那支店の伊藤です。よろしくお願いします。

■柘植委員 税理士をしている柘植です。よろしくお願いします。

■鎌田委員 鎌田です。よろしくお願いします。昨年 12 月まで恵那市教育委員を 8 年間務めた。このような形で恵那市政に関わらせていただけることを光栄に思っている。よろしくお願いします。

■副市長 副市長の大塩です。よろしくおねがいします。

■教育長 教育長の大畑です。よろしくお願いします。

■事務局（進行） 名簿中段に行政の名簿がある。副市長以下部長の名簿が付いている。よろしくお願いします。

4. 会長・副会長の選任

■事務局（進行） 審議会条例4条の規定により、委員の互選により会長及び副会長を各1人置くとしている。選出について意見はあるか。

■伊藤委員 事務局一任でどうか。

[「異議なし」の声あり]

■事務局（進行） 案として、会長職に中部大学の寺澤様、副会長に税理士の柘植様をお願い出来たらと思いますが、いかがでしょうか。

[「異議なし」の声あり]

■事務局（進行） 皆様から承認いただいた。それでは会長に寺澤様、副会長は柘植様に決定する。

5. 会長・副会長あいさつ

■会長 おはようございます。ただいま会長を拝命した中部大学の寺澤です。中部大学の経営情報学部で教えている。専門は経営組織論、組織行動論で、経営学の一分野。組織論を研究して、本当に難しいということが多々あるし、コロナ対策でも行政の対応や組織的な動きに関しても、あれだけ優秀な行政の方がそろっていても情報共有や包括的な動きは難しいということ、ニュースなどで見ながら自分なりに分析していた。

恵那市行財政改革審議会には、以前から関わっている。中部大学は、恵那キャンパス、恵那研修センターがあり、教育・研究に活用している。そういう縁もあり、恵那市のために微力ながら力になれたらと思う。

コロナは感染者が減り、本大学でも安心して対面授業ができるようになったが、まだ半分はオンラインの状況。毎日学生に安心して接することができると思っていたら、ニュースで恵那市が急にクラスターが起きて緊急事態宣言のような状態だと聞き驚いた。まだまだ感染対策は続けていくことが大切。コロナ禍で行財政改革を進めて、特殊な事情がありながらも、アフターコロナの時代を見据えた対応を今後していく必要がある。いかに政策に反映する

かに関しても、今日の皆さんの意見を賜りたい。

■副会長 よろしくお願ひします。恵那市大井町で税理士をしている。私も長い間この行財政改革審議会に関わっている。微力だが一生懸命関わってきたので、今後もまた、副会長として協力させていただきたい。

6. 副市長あいさつ

■副市長 皆さん今日はありがとうございます。

新型コロナについて、恵那市は県下ではない非常事態宣言を出している。県が宣言するのは緊急事態。あえて県と市の言葉を換えている。対策期間は11月3日から11月30日まで。ただし状況が改善すれば解除する。その基準はまだ検討中である。もうしばらく見守っていただきたい。

経過は、9月24日から10月29日まで感染者なしで安堵していたが、10月30日に5名、11月2日に2名で、何かおかしいという感じがした。11月3日には8名となり、この時点で、11月半ばで22名発生となった。人口10万人あたりに換算すると国基準のステージ4という非常に高いところで、県下でも恵那市が一番高い。

この内容は、接待を伴う飲食によって発生したクラスター。感染者の中には外国人や、10代も含まれており、学校に蔓延することを危惧し、このまま放置すると、家族、学校に拡大する恐れがあったので、非常事態宣言を出した。

12歳以下の子どもは、まだ、ワクチンを接種していないが、他の多くの方は接種していたが感染した。ワクチン接種したから大丈夫ということではなく、感染症対策を皆さんしていただきたいと思っている。

現在、保健所では感染ルートをほとんど確定した。したがって、だんだん落ち着いてくると思う。しかし、中津川、瑞浪の方も感染しており37名のクラスターになっている。この後ろに、たくさんの濃厚接触者の方が2週間自宅待機している。多くの方が我慢している状況。できるだけ早く落ち着かせるために非常事態宣言を出したので理解してほしい。

今日の会議は、行動計画達成状況、あるいは指定管理施設のモニタリングの結果をお話する。

財政の状況もお話しする。財政の状況では、基金、貯金を積み増ししている。そして、借金をできるだけ減らそうということで、恵那市の財政状況を

良くしようということの結果が出ている。基金の話は、拙速だと言う人もあるが、リニアの工事が進んでくる。工業団地を造成したいと思っていたときに、中央自動車道の北側に例えば工業用の適地を見つけても、その適地から19号に行くまでに中央自動車道があって、中央自動車道を通過するのに、2車線で歩道付きという穴が開いていないと、なかなか適地としてうまくいかないということがある。リニアができたとき、北側が非常にアクセスに問題になると思っている。リニア工事に伴って、整備すべきところはできるだけ整備したい。それについてはJRの工事と一緒にお金を投資していかないといけない。かなりの金額が想定される。それに備えて貯金をしつつあるということなので理解いただきたい。

7. 議事

(1) 令和2年度行財政改革行動計画の達成状況について 資料NO.1

■事務局（進行） 議事に入る。進行は会長にお願いします。

■会長 議題1について事務局から説明をお願いします。

[事務局から資料に基づき説明]

■会長 予定以上に進行しているものと、予定通り進行していないものを中心にに入れていただき、Cの予定通り進行していない背景にコロナの影響があったということは分かると思う。多岐にわたっているし、委員の関心のあるところがあると思うので、皆さんから一言ずつコメントをいただきたい。

■高木委員 初めての参加なので全て理解できているわけではないが、企業では働き方改革に一生懸命取り組んでいる。適正人員と時間外等の短縮の問題で、人員的にはAAで非常に効果が出ている。コロナ、豪雨という突発的な理由によるところが大きかったと思うが、残業時間については、予定通り進行していなかったということで、単年度でこれが終わればいいが、来年度以降、人数に伴う残業時間が増えない方策をしっかりと立てていただきたい。人員と仕事の内容は、企業をやっていて難しい問題である。削減しても残業時間が増えて1人当たりの作業時間が増えれば意味がないので、それに伴うIT化など、我々製造業なので設備投資をして効率向上を目指すということもやっているが、企業をやっているため気になった。

■会長 指摘の通りだ。今年がイレギュラーなのか、3回目の接種もあるしこれから先のこともあるので、これをいかに、人数に対して時間外労働を増やしていかない努力をしていくというのは大切なことだ。テレワークについては、日本もこれからいろいろ考えていかなければいけない。今までは目の前にいる人を管理すればよかったが、これから画面の向こうの人を管理するマネジメントの考え方、あり方そのものも見直していかないといけない。今いろいろな現象が出て整理していくことになると思う。これからそうやっていく。

■総務部長 残業、時間外勤務の適正化は、コロナの対策、災害の対策で、想定外の時間が出た。この表は、直接の時間外は、毎年平準化しないといけないので、それは外してある。通常業務がそれによってできなかったため、その分の時間外が増えた。今後の対策は、今年もかなり時間外が出ている。市役所は、通常業務で職員の定数を決めているので、臨時の事情があると時間外でカバーしている。今年は、お盆の災害、コロナワクチン接種などがあり、来年まで続くと思う。こういうものは委託業務で、職員の時間外を増やさず、助けてもらうという対策を講じている。来年も若干は出ると思うが努力する。

■矢頭委員 定数について、今回は目標クリアしているという話だが、各町村いろいろな指標を出しているが、恵那市として今後人口の減少などもあり、最終的に市役所として定数をどの辺を目指していくのか。そう簡単に人が増減はしないと思う。長期的な計画があると思うので、人員が減ってサービスが低下しないようお願いしたい。

サービスの件では、3ページ4.市民へのサービスということで、非常に改善されている。私も市役所でいろいろな手続きをするとき、入ると「今日は何ですか？」と笑顔で対応していただき、有り難い。迷わせない、持たせない、書かせないという、すごく効果が出ている。

半面、恵那市は非常に大きな地域で、南部や北部での行政サービス、高齢化すると、私は親に用を頼まれるが、私のような人がいない高齢者が増えると思う。誰に頼めばいいのかということも今後長い面で見えていただき展開していただきたい。高齢者への対応はこれから重要になる。新しい行財政改革でサービスの向上をお願いしたい。

■総務部長 定員については総務部が管理している。定員は、計画を策定する段階で示したが、定員適正化計画を策定している。今回は令和3年度から7年度の5年間の計画を立てている。定員はどこが適正かについては、市町

村間の行政の事務のばらつきがあり、何人が正しいかが非常に分かりにくい。使っている数字は、類似団体。これは人口と産業構造で全国の市町村を区分して分類したもの。その中で恵那市と同様な市の定員を参考にしている。その中でも、団体によって事情が違うのでそこも加味して、それを計画の中に折り込んでいる。

■市民サービス部長 身に余るおほめの言葉をいただきありがとうございます。市民サービス部としては、迷わない、書かせないということで、本庁のサービスはそのようにしている。併せて振興事務所も市民サービス部の中で職員研修を行なっている。同じようなサービスを同じように提供できると思う。

■まちづくり企画部長 周辺部のサービスについて、現在は振興事務所で窓口対応をしている。今後移動に不自由な人も多くなってくる。それを解決するのにIT化が1番最初に頭に浮かぶ。当市は光ファイバーの通信網を全市に張り巡らせている。自宅と市役所を結ぶのは他市より比較的しやすい。まだ検討段階だが、IT化を進めてサービスの向上に努めたいと考えている。

■伊藤委員 市税等の収納率の向上について気になった点など。現年分と過年分がある。我々仕事柄、数字を見るときに、率だけ見ていると、実数、実額を見ていかないとミスリードすることもあるので、目標設定が率になっているのでそれに対する結果ということだが、実数ベースでの数字も確認する必要がある。

現年と過年ということで、恐らく、当年分と前年分というか過ぎた分に分けてあると思うが、現年分の収納率をしっかりと上げていくことが、過年分、いわゆる期間経過といったものを抑制していくことになると思うので、取組としては二通りで考えるべき。同じような取組内容がある。それぞれ内容が違うと思うので、そういう点は切り分けていく必要がある。

いろいろな取組があり、収納率向上のための施策を幅広く取り組んでいると思うが、今はキャッシュレス時代、DX、デジタルトランスフォーメーションで、かなり決済手段が多様化している。我々金融機関もそういう点を進めている。この点で我々金融機関と行政で連携してより向上できることがあれば協力して貢献したい。

■市民サービス部長 現年と過年と違うということで、私どもは現年を中心に収納率を上げていっている。納付方法は口座振替、コンビニ納付、スマホ決済、現金で窓口で納める4つの方法がある。口座振替、コンビニ納付、スマホ決済に力を入れていきたい。口座振替は、税の方では、普通徴収の市民

税ほかという形になるが、特別徴収を除いて 55%になっている。口座振替は、再振替、2 回目の振替もかかるので、お金を入れておいていただければそのまま引き落としができる。人との接触も少ないので推奨したい。窓口での納付や納付通知書を送る場合は、そちらの案内もしている。キャッシュレス等も金融機関に協力をお願いしたい。

■鎌田委員 7 ページ 20. 中学校の適正配置の検討。私が教育委員在職中からの取組で、非常に関心がある。元々 I C T 化で、どこにいても同じ質の教育が受けられる、地域のハンディーキャップをそれで補えるということで、再編の意義のあたりを考えざるを得ない状況だったところで、コロナでの大勢で集まることの弊害の懸念が先立ち、かなりトーンダウンし、再編の必要があるのかと考えがちになっている。元々恵南地区の学校ではソーシャルディスタンスが日常的に保っている。感染対策としては良かった。学校の運営もしやすいと思う。ただ、本来に立ち返り、子どもたちは集団の中で学ぶ、仲間とのかかわりの中で学ぶ、多様性を受け入れる価値観を学ぶという本来のところをこれから考えていかないといけない。コロナのつけがこれから回ってくる気がする。

取り組み内容で、恵南地区の地域や時代のニーズに応える新しいコンセプトを持った学校に基づきというのを初めて目にした。恵南地区に必要な新しいコンセプトを持った学校というのをイメージしているのか。

■教育委員会事務局長 恵南地区の再編は、委員の意見のとおりコロナ禍もあり、必要性などいろいろな議論をしているところ。再編については答申をいただいている。コロナ禍で1年半ほど地域や学校に入るのが難しかった。今再度、地域や地域の協議会長も含めて、もう一度意見を伺うよう入れる状態になった。一番対象になるのは保護者の方で、ニーズをしっかりと聞いて再編に向かう。本来に立ち返り、子どもたちが集団の中でどう学ぶかを一番に考え、再編の協議に再度入っているところ。

ニーズに応える新しいコンセプトについては、I C T の関係で子どもたちは、ギガスクール構想などで教育環境がかなり変わってきたので、その辺を考慮した書き方になっている。

■会長 一番少ない中学校は1 学年何人ぐらいか。

■教育長 一番小規模な中学校は、全校生徒 11 人で串原中学校。本来複式学級とするところを、県教委から1 人教員をいただき、複式学級にならないように対応している。次が上矢作中学校で全校生徒 32 人。恵那市8 中学校のうち、この2 校と、残りは特に南地区で多いが学年単学級、100 人切るか

切らないかのところ。市街地の西中、東中が学年4クラス。

中学校は教科担任制なので、教科の先生を全部そろえたいが教員定数が、学校が小さいと全部まかなえない。併せて、小規模の学校には新規採用のキャリアの浅い教員ばかりを配置できないので、ある程度キャリアのある教員を配置する。そうすると、西中、東中学校が若年の教員ばかりになってしまう。南地区だけの問題ではない。

■会長 そこまで1中学校の生徒数が少なくなっていれば、再編に関する動きは喫緊のテーマである。11人は集団で学ぶにしてはあまりにも少ない。

■柘植副会長 行財政改革の効果が、計画で12億のところは35億でだいぶ上がっていると思った。上がる側面を検証しないといけない。削減の側面とか。先ほど人員削減の話もあったが、そういうところも慎重に進めていってしゃるのでマイナスということはないと思うが検証もあわせてやっていただきたい。

具体的に聞きたいのは、項目40.市有財産の有効活用。評価AA、山岡町の2.2haを売却できたということで、どういうところに売却してどういう内容か。

■総務部長 公有財産の活用について、恵那市は市町村合併してかなりの土地を所有している。公用地は譲渡、売却についての基本指針を作っている。そんな中で、市民が所有している土地の隣接地に市有地がある場合、その人が一体で使ってくれば利用価値があるので、今回売却したのは全て隣接地に市有地があるものです。毎年こういう引き合いがあるので、指針に従って必要に応じて公募をかけないといけない場合もあるが、適切に処分したいと考えている。

■副市長 効果額の中に、前年度に効果額にあげたトレーニングセンターということ話をしたが、競走馬を休養するために山岡に休養・トレーニングする施設を開場した。山岡町の時代に誘致して貸していた土地を、そこを経営している組織の力がついたので購入したいということだったので、元々使っていた土地ですので提供した。

あとは、積極的な公有地の売却は考えている。その場合には公募でやっている。

■会長 私から1点聞きたい。4ページ5.若者・女性の会議への参画。令和2年度目標50%となっているのは大体半々ぐらいというイメージということだが、これに関してはダイバーシティの視点からいろいろな指標を活用した方がいいと思う。事務局の提案のように、我々のように女性で会長・副

会長という形でやるような、会議を回す方の女性の割合というのも一つ。ひょっとすると女性ということはLGBTを考えると表に出さないでむしろダイバーシティを高めるという指標や人口比では年齢的にはこれぐらいが多いのでこの割合でという形で、もう少し目標設定のバリエーションを考えてもいいと思う。女性 50%を目標にするとなるとあまりにも難しい。今後、事務局で考えていただきたい。

■会長 続いて議案2に移る。

(2) 令和2年度指定管理施設に係るモニタリング結果について 資料NO.2

■会長 事務局の説明をお願いします。

[事務局から資料に基づき説明]

■会長 Aが3つ、ほとんどB、Cで課題が多いところはないのが一安心ですが、何か施設について意見があれば。

[発言なし]

■会長 なければ議題3に移る。

(3) 恵那市財政計画の年度改定について

資料NO.3-1~3-3

■会長 事務局から説明をお願いします。

[事務局から資料に基づき説明]

■会長 意見はあるか。

[発言なし]

■会長

5年後の予測が厳しいが、法人税の年率変更で市税が減っていく可能性があることと、ネガティブな要因が多いが、恵那市はまだ呼び込める魅力、ポテンシャルがたくさんあるので、歳入を増やしてより健全な財政運営をして

いただきたい。

議事が終了したので進行を事務局に返す。

8. 報告事項

(1) 恵那市公共施設等総合管理計画の改訂について 資料 NO. 4

(2) 恵那市公共施設個別施設計画の改訂について 資料 NO. 5

■事務局（進行） 長時間にわたり熱心な議論をありがとうございました。
続いて、2点報告事項がある。事務局から説明します。

[事務局から資料に基づき説明]

■事務局（進行） 質問はあるか。

[発言なし]

9. その他

■事務局（進行） その他については特に事務局からは用意していない。委員から何かあるか。

[発言なし]

10. 閉会

■事務局（進行） 副会長から閉会のあいさつをお願いします。

■柘植副会長 それぞれの立場でのいろいろな意見を聞いて有意義だった。アフターコロナに向けて急速に世の中が進んでいくと思う。我々もそれに対応して前に進まなければいけないと改めて思った。本日は、お疲れさまでした。閉会する。

[閉 会]